

# ④ エシカル消費の普及啓発

## 【モデルプロジェクト等の概要】

徳島県内の小中学校等において、エシカル消費に関する教材を活用した授業を試験的に実施するとともに、活用事例の収集等を行い、エシカル消費の普及啓発を行う。

### 【これまでの主な取組・成果】

- ・エシカル消費に関する取組事例の取材（2019年度に39事例を随時公表）
- ・徳島県内で実施されたエシカル消費に関する取組事例集（2021年3月公表）
- ・サステナブルファッションに関するシンポジウム（2021年7月、12月、2022年3月に計3回開催）

### 問題意識・課題

- 全国を対象にした「令和4年度第3回消費生活意識調査」（2022年11月実施）によると、エシカル消費の認知度は26.9%であった

（参考）徳島県でのエシカル消費の認知度  
 26.4%（2017年度）→40.9%（2019年度）→53.9%（2021年度）  
 ※ 徳島県における『倫理的消費（エシカル消費）』に関する消費者意識調査

⇒

**より一層のエシカル消費の普及啓発のため、全国の小中学校等の学校現場におけるエシカル消費教育教材の活用が重要**

### 実施する取組

- 教材を活用した授業の現地調査、教員へのヒアリング、生徒へのアンケートを実施し、活用事例集を作成
- エシカル甲子園における大臣賞・長官賞授与

エシカル甲子園2022 大臣賞授与



### 成果イメージ・効果

- 啓発資材の普及活動の有効事例を集め、改良しながら啓発資材の全国展開につなげる。

		認知度 (%)		
		言葉と内容の両方を知っている	言葉は知っているが内容は知らない	言葉と内容のどちらも知らない
全体	n=5,000	7.6	19.4	73.1
年代	10歳代	12.3	14.6	73.1
	20歳代	12.2	24.2	63.5
	30歳代	11.0	21.4	67.6
	40歳代	8.5	22.7	68.8
	50歳代	7.8	17.3	74.9
	60歳代	5.7	21.6	72.7
	70歳代以上	1,278	3.3	15.2

※令和元年度「エシカル消費に関する消費者意識調査」における認知度は12.2%であり、平成28年度エシカル意識調査では、6.0%であった。

# 消費者教育教材（小学校中学年以上対象）の概要(1)

よりよい買物の仕方を考えよう～エシカル消費ってなあに？～

主に小学校中学年以上の児童・生徒を対象とした、エシカル消費について学べる消費者教育用教材です。動画とワーク、エシカル消費ゲームなどを組み合わせることにより、子どもたちが「社会を変えるお買物」を体験することができます。

## 特徴 1

動画で様々な社会的課題について学ぶ

エシカちゃん、ルー博士と一緒に、「エシカル消費」についてわかりやすく学習できます。



## 特徴 2

ゲーム教材で楽しく能動的に学べる

エシカル消費ゲームに取り組むことで、地域や環境に配慮した買物をするのが社会的課題の解決につながることを楽しく学習できます。

## 特徴 3

教材の組み合わせ次第で多様な活用が可能

教材の組み合わせを工夫することで、様々な教科で使えるほか、個人学習・グループ学習にも対応可能。また、学校の授業だけでなく学童保育、地域のイベントでも活用ができます。

指導解説書付き！



## 教材一覧



①チャレンジマップ



(イメージ)

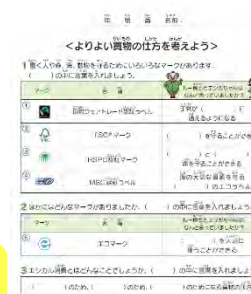
②商品POP (※)



③商品POPシート (※)



④認証マークフリップ



⑤ワークシート



⑥動画

(※) 認証ラベルの付された商品の解説資料

# 消費者教育教材（小学校中学年以上対象）の概要(2)

よりよい買物の仕方を考えよう～エシカル消費ってなあに？～

## <小学校でエシカル消費を学習する際の科目・単元>

科目	対象学年	単元
家庭科	5、6年生	消費生活、環境に配慮した生活
社会科	3年生	地域に見られる生産や販売の仕事
	4年生	ごみ問題、リサイクル、3R（リデュース、リユース、リサイクル）
	5年生	農業や水産業における食糧生産、自然環境、地産地消
	6年生	グローバル化する世界と日本の役割
道徳	各学年	自然愛（思いやり、共生）
総合的な学習	3年生以降	SDGsに関連した学習、地域に根差した学習

## <中学校でエシカル消費を学習する際の科目・単元>

科目	対象学年	単元
総合的な学習	各学年	SDGsに関連した学習

# エシカル甲子園2022

全国76校が参加し、予選通過12校が参加した「エシカル甲子園2022」の本選が、令和4年12月に開催され（於 徳島県）、審査の結果、以下の学校が受賞。（主催：徳島県教育委員会・徳島県、後援：消費者庁等）

※ 今回で4回目となる「エシカル甲子園」は、エシカル消費の推進に積極的に取り組んでいる高校生がエシカル消費に係る各自の取組について発表する場を設け、特に優れたものを表彰し、エシカル消費の推進に資する取組の機運を後押しする行事。

受賞校		取組概要
内閣府特命担当大臣賞	宮城県農業高等学校	海洋ごみの原因となるプラスチックカプセルを使用しない肥料の開発に取り組んでいる。開発した新肥料を使用した稲の生育調査・検証を行い、新肥料の商品化を実現した。
消費者庁長官賞	愛媛県立大洲農業高等学校	大量廃棄されるバショウという植物を再利用した「芭蕉和紙」の果実袋を開発し、プラスチックごみとして廃棄される果実袋の削減やブドウの着色不良の改善に取り組んでいる。
徳島県知事賞	沖縄県立八重山高等学校	卒業生に不要となる制服を寄贈してもらい、新入生へ無償提供する制服リレーの仕組みにより、リユース意識の向上に繋げており、地域住民と連携して制服のリペアにも挑んでいる。
徳島県議会議長賞	佐賀県立伊万里実業高等学校	アジの中骨やフードドライブ活動で集まった規格外食品を活用し、ビスケットやクッキーを製造するなど、地域と一体になって食品ロス削減プロジェクトに取り組んでいる。
徳島県教育長賞	麗澤高等学校	フェアトレードコーヒーの販売活動を通してフェアトレードの普及を図ると共に、医療的ケアを必要としている子供たちのための施設整備を支援するために、売上の一部を寄付した。
日本エシカル推進協会会長賞	静岡県立富士特別支援学校	生徒が洗浄したペットボトルが身近な製品に生まれ変わることを学習し、自身の作業が社会のために役立つことを理解して、目的意識ややりがいを持って作業に取り組んでいる。
エシカル甲子園特別賞	徳島県立城東高等学校	世界的な課題の解決のため、インドネシアの高校生とともに、食品ロス削減やゼロ・ウェイストについての啓発授業を双方向で実施している。



# サステナブルファッションの推進(1)

2021/7/12 サステナブルファッションシンポジウム

## ファッションから考えるサステナブルな未来

本シンポジウムでは、サステナブルファッションにつながる各種取組について紹介することにより、消費者にも自身の消費行動に関心を持っていただき、ファッションにおける“エシカル”な消費の選択肢について知ってもらうことを目的に開催しました。

### プログラム

- エシカルファッションプランナー  
鎌田安里紗 基調講演  
「サステナブルファッションとは？  
-服と自然と社会のつながり-」
- パネルディスカッション  
「サステナブルファッションと消費者の選択」
- 学生を交えたディスカッション  
「ロスから考えるサステナブルファッション」



### <基調講演>

「サステナブルファッションとは？  
-服と自然と社会のつながり-」

講師：鎌田 安里紗

ファッションを取り巻く現状や、サステナブルファッションとは何か、サステナブルファッションを推進するための鎌田氏の取組についてご説明いただきました。

### <学生を交えたディスカッション>

「ロスから考えるサステナブルファッション」

司会：加渡 いづみ（四国大学短期大学部教授）

コメンテータ：鎌田 安里紗

参加者：

四国大学学生2名

大塚 桃奈（上勝町ゼロ・ウェイストセンターCEO）

四国大学の学生を対象にした衣服の消費に関する調査の結果を交えて、サステナブルファッションに対する消費者の意識、行動のあり方等について意見交換を行いました。

### <パネルディスカッション>

「サステナブルファッションと消費者の選択」

モデレータ：松重 和美（四国大学学長）

パネリスト：

池内 計司（IKEUCHI ORGANIC（株）代表取締役）

大塚 桃奈（上勝町ゼロ・ウェイストセンターCEO）

日下部 英紀（消費者庁新未来創造戦略本部次長）

酒向 貴子（環境省中国四国地方環境事務所四国事務所長）

各パネリストごとに生産の立場、廃棄する立場、行政の立場から取組を紹介するとともに、消費者の役割について、議論を行いました。



14:45~

### ●トークショー

「わたしたちができるサステナブルファッション」

<コーディネーター>

一般社団法人unisteps共同代表

鎌田 安里紗

<ゲスト>

株式会社メカジ

フロンディングコミュニケーション担当 上村 一斗

デプトカンパニー 代表/アクティビスト eri

上勝町ゼロ・ウェイストセンター CEO 大塚 桃奈

株式会社Shoichi 代表取締役 CEO 山本 昌一

コーディネーター  
一般社団法人unisteps共同代表  
鎌田 安里紗 氏



16:30~

### ●サステナブルファッションショー

エシカル消費特設サイト「サステナブルファッション習慣のすすめ」の「18のヒント」を参考に、サステナブルファッションの具体的なコーディネートを紹介いたします。コーディネートの意図、背景、サステナブルな観点を中心に、学生へのインタビューを通じて深く掘り下げていきます。

<出演・演出>

大阪モード学園

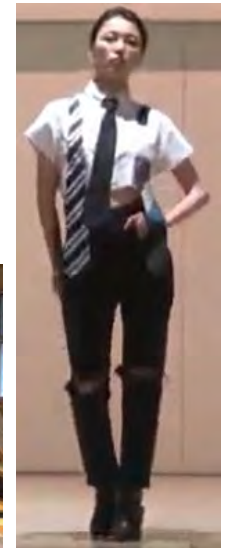
ファッションデザイン学科

ファッション技術学科

スタイリスト学科

メイク・ネイル学科

Before



# サステナブルファッションの推進(2)



## サステナブルファッションに関する日仏シンポジウム ～フランスの取組から学ぶ～



2022  
3/10  
開催



テーマ:「サステナブルファッションの国際的潮流と今後の展開」

17:00-17:10 開会挨拶  
若宮 健詞 内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全) ※ビデオメッセージ  
フィリップ・セトン 駐日フランス大使 ※オンライン参加

### 第1部 基調講演

17:10-17:40 講演者: ギヨーム・ド・セイネス ファッション高級品分野戦略委員会委員長、エルメス社執行副社長  
講演者: ロランス・メガール 経済・財政・振興省企業総局健康・生活用品・食品産業課長  
「フランスにおけるサステナブルファッションに向けた規制とEUの潮流」  
17:40-18:00 講演者: 片岡 進 消費者庁審議官  
「日本におけるサステナブルファッション」

18:00-18:20 休憩

### 第2部 ラウンドテーブル

「サステナブルファッションに向けた事業者の取組と消費行動」

モデレーター 日下部 英紀 消費者庁新未来創造戦略本部次長

#### パネリスト

(日本)

生駒 芳子 日本エシカル推進協議会副会長、HIRUMEプロデューサー、  
消費者庁サステナブルファッションサポーター

鎌田 安里紗 一般社団法人unisteps共同代表、消費者庁サステナブルファッションサポーター

下田 祥朗 伊藤忠商事株式会社ファッションアパレル第三部繊維原料課長

片岡 進 消費者庁審議官

(フランス)

アンドレーアンヌ・ルミュー フランスモード学院持続可能開発ケリング講座部門長

グレゴリー・マルジャン トゥルーコワン繊維ユニオン社社長、  
欧州アパレル繊維産業連盟(EURATEX)副会長

ティボー・ヴォン・チャメル ドゥボー・グループ社長

19:35 閉会挨拶  
サルバトゥール・セラバル エコロジー移行省グリーン・連帯経済部長、持続可能開発代表

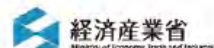
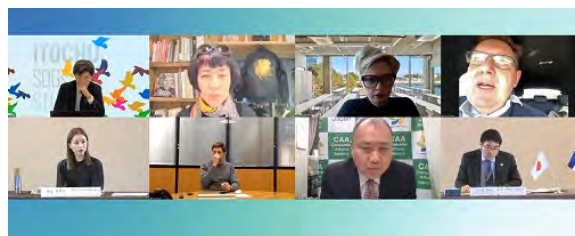
#### 【基調講演】

ファッションの国・フランスの政府関係者や世界的ラグジュアリーブランドの役員に登壇いただき、ファッション界における行政及び事業者の取組をご説明いただいた



#### 【ラウンドテーブル】

様々な立場でファッションに関わる日仏両国の有識者に登壇いただき、今後のサステナブルファッションの動向・展望について、多様な視点からお話いただいた



\*消費者庁ウェブサイトにて、本シンポジウムの議事録を公開中\*